

山陽小野田市立山口東京理科大学

教職課程 履修カルテ

数理情報科学科

学籍番号		氏名	
登録年度	年	月	日 登録

目 次

履歴	1
教職実践演習について	2
履修カルテについて	3
履修カルテの記入方法について	4
1 学修状況	
●教育職員免許法施行規則（66 条の 6）に定める科目	5
●教育の基礎的理解に関する科目	○
●道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○
●教育実践に関する科目	○
●教科及び教科の指導法に関する科目	○
2 介護等体験	○
3 教育実習	○
4 課外活動等	○
5 自己点検シート	
①教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	○
②教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項	○
③教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項	○
④教員として求められる教育の指導力に関する事項	○
6 今年度の振り返りと来年度の目標について	○
7 教職実践演習	○

履 歴

学 部	工学部	学 科	学科		写真 タテ4cm×ヨコ3cm
学 籍 番 号			学 年	年	
氏 名	(フリガナ)				
生 年 月 日	年 月 日		性 別	男 ・ 女	
現 住 所	〒 -		T E L		
			携 帯		
			E-mail		
出 身 中 学 校				国・県・市町村立 or 私立	
出 身 高 等 学 校				国・県・市町村立 or 私立	
取 得 希 望 の 免 許 状 の 教 科 と 種 類				中学校教諭一種免許状	
				高等学校教諭一種免許状	
教職課程 履修志望理由					
大学提出確認欄 ※提出期限：別途掲示にて連絡					
1		2		3	
4		5		6	

教職実践演習について

【趣 旨】

- 教職実践演習は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、課程認定大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである
- 学生は、この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。
- 本科目には、教員として求められる以下の4つの事項を含めることが適当である。
 - 1. 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
 - 2. 社会性や対人関係能力に関する事項
 - 3. 生徒理解や学級経営等に関する事項
 - 4. 教科の指導力に関する事項

【概 要】

- ① 開講時期
原則、4年次後期に開講。
(ただし、選択した演習によっては夏季休業期間中でのフィールドワーク等の場合あり。)
- ② 演習内容
各人の教育実習の経験・反省を踏まえて、「使命感・責任感・教育的愛情」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・学級経営」といった内容について、模擬授業・ロールプレイング・グループディスカッションなど実践的な方法を中心に学習する。
- ③ 履修登録
4年次(後期)に履修登録
- ④ その他
教職実践演習履修時、この「履修カルテ」が必要。

履修カルテについて

【目 的】

大学（教職課程担当教員）が教職課程を履修している学生の学習状況を履修カルテ等を通して把握し、各学生に対し適正な指導を行うことを目的とする。

また、履修カルテを記入することは、個々の記録を残すという観点からも重要だが、そのほか文章力、文章構成力、記録方法等教員として必要な技術力の向上等も目指す。

【作成時期】

教職課程履修時から教員免許取得まで

【提出時期】

各年度の初めに教務課に提出する。教職実践演習履修時には、このカルテをもとに、各指導教員等が指導をおこなう。（提出期限等については、別途、掲示等にて告知）

【注意事項】

履修カルテの提出がない場合、「教職実践演習」の履修は認められませんので、十分注意してください。

履修カルテの記入方法について

①「学修状況」の記入について

(記入例)

各科目に定める 必修項目	授業科目名	単 位 数	履修 年度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修課題及び目標
教職の意義及び ...	教職概論	2	20XX	山口太郎	A	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○・・・(150字程度)

※単位を取得しなかった科目は未記入。

(記入例)

各科目に定める 必修項目	授業科目名	単 位 数	履修 年度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修課題及び目標
代数学	線形代数学 及び演習1	2	20XX	小野田 次郎	A	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○・・・(150字程度)

※単位を取得しなかった科目は未記入。

②「介護等体験」及び「教育実習」の記入について

「介護等体験」は介護等体験が終了した段階で記入、「教育実習」は教育実習実施直前に(実習予定校)欄に記載し、実習終了段階で(学んだこと、自己の課題として感じられたこと)欄を記入してください。

③「自己評価シート」の記入について

教職課程の年度毎に達成度を5段階で記入してください。

(記入例)

5. よくできた 4. できた 3. あまりできなかった 2. できなかった 1. 今後の課題である。

項 目	20XX 年度 1 年次	20XX 年度 2 年次	20XX 年度 3 年次	20XX 年度 4 年次	
1. 生命の尊さを理解し、・・・	1	3	4	5	

⑤ 「今年度の振り返りと来年度の目標について」の記入について

年度毎に振り返りと次年度に向けた目標を記入してください。

(記入例)

今年度を振り返って
(例) 今年度については〇〇〇〇〇〇を意識して・・・・・・・・(200 字程度)

来年度に向けて (目標)
(例) 来年度については〇〇〇〇〇〇について頑張りたい・・・・・・・・(200 字程度)

1 学修状況

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教育職員免許法施行規則（第66条の6）に関する科目	日本国憲法	法学					
	体育	健康科学					
		体育実習					
		生涯スポーツ 教育論					
		スポーツ リーダー論					
	外国語コミュニケーション	Oral Communication in English 1					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教育職員免許法施行規則（第66条の6）に関する科目	外国語コミュニケーション	Oral Communication in English 2					
	情報機器の操作	人工知能基礎					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並び に教育に関する 歴史及び思想	教育原理					
	教職の意義及び 教員の役割・職務 内容（チーム学校 運営への対応を 含む。）	教職概論					
	教育に関する社 会的、制度的又は 経営的事項（学校 と地域との連携 及び学校安全へ の対応を含む。）	教育の制度と 経営					
	幼児、児童及び生 徒の心身の発達 及び学習の過程	学習・発達論					
	特別の支援を必 要とする幼児、児 童及び生徒に対 する理解	特別支援教育					
	教育課程の意義 及び編成の方法 （カリキュラム・ マネジメントを 含む。）	教育課程論					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び 指導法	道徳理論					
	総合的な学習（探 究）の時間の指導 法	総合的な学習の 時間の指導法					
	特別活動の指導 法	特別活動					
	教育の方法及び 技術	教育方法・技術					
	情報通信技術を 活用した教育の 理論及び方法	情報通信技術の 活用					
	生徒指導の理論 及び方法	生徒・進路 指導論					
	教育相談（カウ ンセリングに関す る基礎的な知識 を含む。）の理論 及び方法	教育相談の 基礎と方法					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導 ※事前					
		教育実習指導 ※事後					
		教育実習 1					
		教育実習 2					
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)					

中一種免・高一種免（数学）

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単位数	履修 年度	教員名	成績 評価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	線形代数学及び 演習 1					
		線形代数学及び 演習 2					
		計算モデリング					
		計算と論理					
	幾何学	幾何学					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	幾何学	アルゴリズム概 論					
	解析学	微分積分学及び 演習 1					
		微分積分学及び 演習 2					
		数理モデル					
		数学基礎					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	解析学	数物理学					
		最適化理論					
	確率論、統計学	確率・統計学及び 演習					
		応用統計学 1					
		応用統計学 2					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	確率論、統計学	データ解析及び 演習 1					
		データ解析及び 演習 2					
		多変量解析					
	コンピュータ	プログラミング 1					
		プログラミング 2					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	コンピュータ	プログラミング 3					
		プログラミング 4					
	各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	数学科指導法 1					
		数学科指導法 2					
		数学科指導法 3					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	数学科指導法 4					

高一種免（情報）

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会・情報倫理	情報社会と情報倫理					
		情報セキュリティ					
		情報基礎及び演習 1					
		情報基礎及び演習 2					
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	アルゴリズム					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	プログラミング 1					
		データサイエンス 基礎					
		プログラミング 2					
		プログラミング 3					
		プログラミング 4					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	情報システム（実 習を含む。）	データベース					
		自然言語処理基 礎					
		知能情報及び演 習 1					
		知能情報及び演 習 2					
		データマイニン グ					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	情報システム（実 習を含む。）	ヘルスケア情報 学					
	情報通信ネット ワーク（実習を含 む。）	情報通信ネット ワーク					
		情報理論					
		オペレーション ズ・リサーチ					
	マルチメディア 表現・マルチメデ ィア技術（実習を 含む。）	ビジュアルコン ピューティング					

科目	各科目に定める 必要事項	授業科目名	単 位 数	履 修 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと、身についた資質・能力、これからの学修 課題及び目標
教科及び教科の指導法に関する科目	マルチメディア 表現・マルチメデ ィア技術（実習を 含む。）	データ可視化法					
		ディープラーニ ング 1					
	情報と職業	情報と職業					
	各教科の指導法 （情報通信技術 の活用を含む。）	情報科指導法 1					
		情報科指導法 2					

2 介護等体験

(体験先)

体験先	実習期間	備考
2 日間	年 月 日	
	～ 年 月 日	
5 日間	年 月 日	
	～ 年 月 日	

介護等体験終了後、自分自身の変化とこれからの目標

※ 介護等体験証明書の写し（2日間）を貼ってください。

※ 介護等体験証明書の写し（5日間）を貼ってください。

4 課外活動等

名称および主催者等	期間または年月日	場 所	活動内容	学んだこと

5 自己点検シート

①教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項

教職課程の年度毎に達成状況を5段階で記入してください。

評点： 5：よくできた 4：できた 3：あまりできなかった 2：できなかった 1：今後の課題である

項目	年度 年次	年度 年次	年度 年次	年度 年次	
1. 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重することができますか。					
2. 生徒の喜びや悲しみを自分のものとして共に分かち合い、常に生徒に寄り添って考え、行動することができますか。					
3. 生徒のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報など、職務上知りえた秘密をまもることができますか。					
4. 教育に対する熱意や使命感をもっていますか。					
5. なぜ教師になりたいかについて自分の言葉で語れますか。					
6. 自らが理想とする教育について自分の言葉で語れますか。					
7. 自分が目指す教師像に接近するための努力をしていますか。					
8. 日常的に文化や芸術に触れるなど、豊かな心や人間性を培おうとしていますか。					
9. 趣味の領域を広げたり深めたり、自らの特技をさらに伸ばそうと努力していますか。					
10. 新聞やニュース等をよく読み、社会の動きに関心をもってしていますか。					
11. 教育学や心理学の知識や理論に関心をもち、必要ときに参照し、活用することができますか。					
12. 学校教育に関する法令等（憲法、教育基本法、学校教育法等）を学び、その基礎的な内容を理解していますか。					

13. 文部科学省や教育委員会の動向から現代の教育課題を把握し、学校教育の役割を理解していますか。					
14. いじめ、不登校、特別支援教育など、現代の教育課程に関心をもち、自分なりの意見をもっていますか。					
15. 睡眠を十分とり、手洗い、うがいをするなど、体調管理に心がけていますか。					

②教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項

教職課程の年度毎に達成状況を 5 段階で記入してください。

評点： 5：よくできた 4：できた 3：あまりできなかった 2：できなかった 1：今後の課題である

項目	年度 年次	年度 年次	年度 年次	年度 年次	
1. 自らすすんで、あいさつができますか。					
2. 服装や身だしなみがなどエチケットにも心を配ることができますか。					
3. 他の人から見た自分の表情を意識していますか。					
4. 適切な言葉遣いで話すことができますか。					
5. 書類の提出期限や約束の時間を確実に守るなど、社会人にふさわしい行動をとることができますか。					
6. 中学生・高校生の発達段階を考慮し、相手の人格を尊重したコミュニケーションがとれますか。					
7. 気軽に中学生・高校生に声をかけたり、相談にのったり、楽しく会話をすることができますか。					
8. 自分の思いや考えを相手に的確に伝えることができますか。					
9. クラス全体の生徒に対して適切な声の大きさと、わかりやすく話すことができますか。					
10. 人の話を聴く時には相手が話しやすい態度で接し、その思いや考えを相手の立場に立って受けとめることができますか。					

11. 他者からの評価やフィードバックを自己の成長に活用することができますか。					
12. 集団の中で他者と協力して課題に取り込むことができますか。					
13. 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。					
14. 組織の中で仕事をするにあたって「報告・連絡・相談」が大切であることを理解していますか。					

③教員として求められる生徒理解や学級経営等に関する事項

教職課程の年度毎に達成状況を 5 段階で記入してください。

評点： 5：よくできた 4：できた 3：あまりできなかった 2：できなかった 1：今後の課題である

項目	年度 年次	年度 年次	年度 年次	年度 年次	年度 年次
1. 生徒を観察したり、生徒の意見をよく聴いて、ありのままの姿を肯定的に受けとめることができますか。					
2. 中学生・高校生の発達の段階や課題について理解していますか。					
3. 生徒のよさや可能性を引き出し伸ばす力を身につけようとしていますか。					
4. 生徒相互の好ましい人間関係を構築する集団づくりのための具体的な方法を身につけようとしていますか。					
5. 生徒に正しい判断や行動を行うことの大切さについて指導するにあたり、自ら率先して模範を示す意欲や態度をもっていますか。					
6. 学校における道徳教育や特別活動の目標と内容を理解し、その具体的な指導方法を身につけようとしていますか。					
7. 総合的な学習の時間の目標を理解し、その具体的な指導方法を身につけようとしていますか。					
8. いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の生徒の特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。					

④教員として求められる教育の指導力に関する事項

教職課程の年度毎に達成状況を 5 段階で記入してください。

評点： 5：よくできた 4：できた 3：あまりできなかった 2：できなかった 1：今後の課題である

項目	年度 年次	年度 年次	年度 年次	年度 年次	
1. 担当教科の教科書の内容を十分に理解していますか。					
2. 学習指導要領およびその解説を精読し、担当教科の目標・内容等を十分に理解していますか。					
3. 担当教科を学ぶ意識や、その楽しさ、面白さを、自分の言葉で生徒に語ることができますか。					
4. 常に新しい知識や情報を積極的に取り入れ、生涯を通じて学び続ける態度を身につけていますか。					
5. 指導しようとする教育内容を理解し、指導のねらいや目標を考えることができますか。					
6. 生徒一人一人が学習内容に興味、関心をもつことができるように工夫した授業づくりをすることができますか。					
7. 学習指導案の内容と作成の手順を理解し、創意工夫しながらよりよいものに作り変えていくことができますか。					
8. 実際の授業でどのような反応を生徒がするか等、生徒の反応を想定した教材研究をすることができますか。					
9. わからない生徒はどこがわからないか、生徒のつまずきや誤答を事前に予測し、指導に活かすことができますか。					
10. 生徒が主体的に授業に参画するような発問の方法を工夫することができますか。					
11. 生徒からの質問に誠実に対応することができますか。					
12. 常用漢字を習得していますか。					
13. 正しい書き順で、読みやすい丁寧な文字を書くことができますか。					
14. コンピュータや Tex などのソフトを活用し、わかりやすく読みやすい教材、資料、学習指導案等を作成することができますか。					

15. プレゼンテーションや写真、動画等を活用した、適切な情報資料を作成することができますか。					
16. 授業中に一人一人の生徒の学習状況や理解度を的確に把握し、その評価結果を生かした指導を実践することができますか。					
17. 指導計画が適切であったかを振り返り、問題点を明確にして次の計画に活かすことができますか。					
18. 授業力の向上のために、自己の課題を認識し、その解決に向けて学び続ける姿勢をもっていますか。					

6 今年度の振り返りと来年度の目標について

年度	年次
今年度を振り返って	

年度	年次
来年度に向けて（目標）	

年度 年次

今年度を振り返って

年度 年次

来年度に向けて（目標）

年度 年次

今年度を振り返って

年度 年次

来年度に向けて（目標）

年度 年次

今年度を振り返って	

年度 年次

来年度に向けて（目標）	

年度 年次

今年度を振り返って	

年度 年次

来年度に向けて（目標）	

7 教職実践演習

担当教員	
※ 後日配付の資料を貼ってください。	

※ 後日配付の資料を貼ってください。

※ 後日配付の資料を貼ってください。

※ 後日配付の資料を貼ってください。

※ 後日配付の資料を貼ってください。

大学 検 印	
--------------	--

2024 年度 山陽小野田市立山口東京理科大学
教職課程 履修カルテ
発行：山陽小野田市立山口東京理科大学事務部教務課
2024 年 4 月 1 日初版